

特 許 協 力 条 約

P C T

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

（法第 12 条、法施行規則第 56 条）

〔P C T 36 条及び P C T 規則 70〕

出願人又は代理人 の書類記号 PF-050006-W0	今後の手続きについては、様式 P C T / I P E A / 4 1 6 を参照すること。	
国際出願番号 P C T / J P 2 0 0 5 / 0 0 4 6 2 9	国際出願日 (日. 月. 年) 1 6 . 0 3 . 2 0 0 5	優先日 (日. 月. 年) 1 8 . 0 3 . 2 0 0 4
国際特許分類 (I P C) Int.Cl. <i>A45D34/04</i> (2006. 01), <i>B65D51/32</i> (2006. 01)		
出願人 (氏名又は名称) 株式会社コーセー		

1. この報告書は、P C T 35 条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第 57 条 (P C T 36 条) の規定に従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 3 ページからなる。
3. この報告には次の附属物件も添付されている。 a. <input checked="" type="checkbox"/> 附属書類は全部で 1 ページである。 <input checked="" type="checkbox"/> 補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙 (P C T 規則 70. 16 及び実施細則第 607 号参照) <input type="checkbox"/> 第 I 欄 4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙 b. <input type="checkbox"/> 電子媒体は全部で (電子媒体の種類、数を示す)。 配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。 (実施細則第 802 号参照)
4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。 <input checked="" type="checkbox"/> 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎 <input type="checkbox"/> 第 II 欄 優先権 <input type="checkbox"/> 第 III 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 <input type="checkbox"/> 第 IV 欄 発明の単一性の欠如 <input checked="" type="checkbox"/> 第 V 欄 P C T 35 条 (2) に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 <input type="checkbox"/> 第 VI 欄 ある種の引用文献 <input type="checkbox"/> 第 VII 欄 国際出願の不備 <input type="checkbox"/> 第 VIII 欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 1 2 . 0 1 . 2 0 0 6	国際予備審査報告を作成した日 0 7 . 0 7 . 2 0 0 6		
名称及びあて先 日本国特許庁 (I P E A / J P) 郵便番号 1 0 0 - 8 9 1 5 東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号	特許庁審査官 (権限のある職員) 富江 耕太郎	3 R	9 5 3 2
	電話番号 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 3 8 6		

様式 P C T / I P E A / 4 0 9 (表紙) (2 0 0 5 年 4 月)

第 I 欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

- ☒ 出願時の言語による国際出願
- ☐ 出願時の言語から次の目的のための言語である _____ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
- ☐ 国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))
- ☐ 国際公開 (PCT規則12.4(a))
- ☐ 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 _____ 1 - 8 _____ ページ、出願時に提出されたもの

第 _____ _____ ページ*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ _____ ページ*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 _____ 2, 3 _____ 項、出願時に提出されたもの

第 _____ _____ 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの

第 _____ 5, 7, 8 _____ 項*、12.01.2006 付で国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ 1 _____ 項*、26.05.2006 付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 _____ 1 - 6 _____ ページ/図、出願時に提出されたもの

第 _____ _____ ページ/図*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ _____ ページ/図*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☒ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 _____ ページ

☒ 請求の範囲 第 _____ 4, 6 _____ 項

☐ 図面 第 _____ ページ/図

☐ 配列表(具体的に記載すること) _____

☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第 _____ ページ

☐ 請求の範囲 第 _____ 項

☐ 図面 第 _____ ページ/図

☐ 配列表(具体的に記載すること) _____

☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

第Ⅴ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性（N）	請求の範囲	1－3，5，7，8	有
	請求の範囲		無
進歩性（I S）	請求の範囲	1－3，5，7，8	有
	請求の範囲		無
産業上の利用可能性（I A）	請求の範囲	1－3，5，7，8	有
	請求の範囲		無

2. 文献及び説明（PCT規則70.7）

請求の範囲1－3，5，7，8に係る発明は、国際調査報告に引用されたどの文献にも記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。

請 求 の 範 囲

- [1] (補正後) 容器体と、先端に塗布体が設けられた軸体を有する蓋体とよりなる塗布体付き容器において、前記容器体口部の内側にしごき部を、前記蓋体の軸部に環状突起を設け、更に前記軸体の環状突起の上と下に、軸体内を通じ空気を流通可能とする微小な空気流通孔を設けるとともに、前記しごき部上部壁面に弾性を有する摺動部を設け、前記環状突起の下に形成された空気流通孔が、環状突起が摺動開始部に接したときにしごき部のシールを外れ、容器体内に位置するように設けてなることを特徴とする塗布体付き容器。
- [2] 環状突起が、蓋体を完全に閉じたときに前記しごき部と密接するものである請求項第1項記載の塗布体付き容器。
- [3] 軸体の環状突起の下部が逆円錐台形状であることを特徴とする請求項第1項または第2項記載の塗布体付き容器。
- [4]
- [5] (補正後) 摺動部の裏側を抜いて肉厚を薄くし、容器体口部の内側と摺動部の外側との間に空間を設けたことを特徴とする請求項第1項ないし第3項の何れかに記載の塗布体付き容器。
- [6]
- [7] 環状突起の下に形成された空気流通孔の径を、環状突起の上に形成された空気流通孔の径と同じかまたはそれよりも小さくしたことを特徴とする請求項第1項ないし第3項または第5項の何れかに記載の塗布体付き容器。
- [8] 環状突起および摺動部を、前記環状突起の径が前記摺動部の内径よりも大きくなるように設けてなることを特徴とする請求項第1項ないし第3項、第5項または第7項の何れかに記載の塗布体付き容器。